

動物だ!?

確かに楽ちんなんだけど…
便利に満ちあふれた世の中
私は元AI研究者なのですが、「不便益」、つまり不便がもたらすメリットについて研究しています。不便っていうのはデメリットなのに、いきなり矛盾してるじゃないかって？
まあ聞いてください。
どこか旅行に行くとしましよう。
もし、「どこでもドア」で一瞬で目的地に行けたら、手間は省けるけれど何か味気なくないですか。移動の計画を立てたり、目的地が見つからなくてうろろうしたりするのも旅行の楽しみの一つですよ。
パズルとか間違い探しなんかも、

ミカタ \\ 今回の未来の味方! /

ひろし
川上浩司

京大デザイン学ユニット特定教授。学部時代から人工知能に関心を持ち、究極の便利を追い求めるが、准教授になって間もなく恩師のひと言がきっかけで不便益研究の道へ。近著に『ごめんなさい、もしあなたがちょっとでも行き詰まりを感じているなら、不便をとり入れてみてはどうですか? ~不便益という発想』(インプレス)。長い書名も不便益のたまもの。



不確実な将来をどう歩く?
未来のミカタ!
いい大学? いい会社? そんな誰かの用意したレールには頼れない。
変化が大きく予測しづらい未来。自分の足で歩くヒントを、あの人に聞いてみた。



ミカタ
川上浩司さんの未来の見方! /

便利すぎるとツマラナイ 人間は不便を楽しむ

わざわざ頭を使うから、解けた時に爽快爽快感がある。

どちらにも、スムーズに行き過ぎる印象に残らない。ちよつとした苦勞や引っかけり、つまり不便があるから面白い。必ずしも「便利＝豊か」「不便＝害」ではないんです。

手間がかかるけど使いたくなる
そんな不便をデザインする

私は、学生と一緒に不便益を実感できる商品をいくつか企画しています。

その一つ、「不便なお土産セット」は、観光地のお土産を駅でひよいと買ってしまう便利に疑問を感じて生まれたもの。このセットを買った人は駅で風呂敷を受け取り、その土地に散らばる土産物の製造元のお店を巡って、自分だけのセットをつくります。数分で選んだお土産は、買った人ももらった人もすぐに忘れてしまいますが、足を運んで買い求めると、その思い出とともに渡すことによって贈り手の気持ちもつと伝わりそうではないですか？ このアイデアをちよつと変えて、ご朱印帳しゅいんのような本を出版しました。

どんな未来が
来ると思えますか？

便利が普及しすぎると
選ぶ権利が奪われる

世の中は、「便利になるのはいいことだ」という前提で進んでいます。これが行き過ぎると、不便だから「やらなくていいよ」が、「やっちゃいけない」になるのではないかと考えています。

例えば車の自動運転。もし全面自動運転が実現すると、道路を効率よく使えるので、高速道路の車線は今の半分ですむようです。代わりに、その高速道路は手動運転が禁止になる。つまり「運転しなくていいよ」が「運転してはいけない」になる。全部が他人や機械任せで楽だけれど、自分がやることの喜びが奪われる社会ってどうなんでしょう。

未来には、
どんな軸やチカラが
必要ですか？

便利化に流されないために
不便の面白さを知っておく

この流れはある程度まで進んでしまうと、逆らいにくい。だって「みんなが便利になるんだからええやん。自分で運転したいなんてわがままや」と大勢に言われたら、なかなか言い返せないでしょ？

だからって何もかも今のままがいいとか、昔に戻れってことじゃないですよ。いつの間にかそんなことにならないように、「やっちゃいけない」世界になりつつあることに気づけるようになっておきたい。そのためには、手間をかける、頭を使う喜びを知っておく必要がある。不便がもたらす豊かさをできるだけ多く経験しておくことです。

回り道にこそ、 発見や工夫の余地がある

具体的に何を

すればいいですか？

自分を変えるって

時間はかかるし面倒なもの

「何をすればいいか？」…一直線に答えを求める姿勢は、便利化の渦に巻き込まれ始めているかも！

もし、なんの苦勞もなく暗記できる魔法があったとしたら、次のテストの点数は上がるかもしれないけれど、なんの成長もない。そう、プロセスが大事なものは、それによって自分が変えられるから。手間をかけて勉強するっていうのは、自分の変化にリアリティーを与えることなんです。

だから勉強でもそれ以外でも、今のうちに面倒な経験をたくさんした方がいいでしょうね。時間はかかるけど、自分を変えていきたいければ。

普段の生活にちよつと不便を

「プチ冒険」のススメ

とはいえ、いきなり大冒険に挑戦しなくても大丈夫。失敗してもリカバリーできる範囲のプチ冒険から始

めてはどうでしょう。

電車通学なら、いつもと違う改札から出てぐるっと回ってみたらどうか。自転車通学なら、まだ入ったことのない路地に入ってみるとか。電子辞書派の人が、紙の辞書を使ってみる、なんていうのもありかな。

もう一つ、人生には、結果的に回り道になってしまうこともありますよね。意図しない回り道。

でも、最短経路で行けなかったのは、ガッカリすることではありません。手間とか時間とか頭を使わなきゃいけないという不便に、何かの「益」を見つけてくれたらな、と幸いです。

ミカタ！のまとめ

- ・便利化の波に、行動の選択肢を奪われないように注意
- ・不便の豊かさを知るために、プチ冒険をしよう
- ・失敗して脇道に逸れても、自分を変えるチャンスと思え！

不便がキミを 変えるかも

